

科目進度と各学年の到達目標(令和5年度以前入学生及び編入学生)

区分	学年	1年次		2年次		3年次		4年次	
		1セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター	
基礎科目	人間と文化	哲学	芸術	生命倫理学	文化人類学				
		文学	心理学						
		ジェンダーとセクシュアリティ							
基礎科目	人間と環境	化学	地球環境論						
		生物学							
		生活環境論							
		人間工学							
基礎科目	人間と社会	日本国憲法と人権	人間と歴史	教育学	国際社会の動向				
		社会学							
		人間関係論							
		スポーツと健康							
基礎科目	人間と言語	英語 I	英語 II	英語 III	英語 III				
			トータルコミュニケーション	中国語					
				ドイツ語					
基礎科目	アカデミックスキル	情報リテラシー	情報リテラシー演習	統計学					
		基礎ゼミナール I	基礎ゼミナール II						
専門基礎科目	社会と医療のしくみ	公衆衛生学	社会保障論	関係法規	学校保健と産業保健				
			ヘルスプロモーション論	疫学・保健統計	チーム医療論				
				保健医療福祉行政論					
専門基礎科目	生命と発達	人体の構造 I	人間発達論	臨床心理学					
		人体の構造 II	生化学						
		遺伝学							
		栄養学							
		人体の機能 I							
専門基礎科目	健康障害と治療	人体の機能 II							
		微生物学	病理学	病態治療学 III					
			病態治療学 I	放射線と看護					
			病態治療学 II	東洋医学と経絡					
			薬理学	音楽療法					
専門科目	看護の基盤となる科目		生体情報と看護						
		看護学原論	看護理論	看護倫理					
		日常生活援助論	診断・治療援助論	基礎看護学実習 II					
専門科目	看護実践を支える科目	基礎看護学実習 I							
		実践看護学概論	フィジカルアセスメント	公衆衛生看護支援論	終末期看護援助論	地域診断	公衆衛生看護活動展開論		
			母性看護支援論	急性期看護援助論	在宅看護援助論				
			小児看護支援論	慢性期看護援助論	精神看護援助論				
			成人看護支援論	リハビリテーション看護援助論	実践看護学演習 I				
			高齢者看護支援論	がん看護援助論	実践看護学演習 II				
			メンタルヘルス看護支援論	公衆衛生看護方法論					
専門科目	看護実践科目	家族看護支援論							
		ふれあい実習							
各学年別到達目標	看護の統合と発展	多様な価値観や人生観に触れるとともに生活者の視点で人々の生活や環境を捉え、看護の対象となる人間を理解する。	人間の尊厳や人権および看護職者の責務と役割について理解する。	看護者の責務と役割に基づき、人間の尊厳や権利を尊重した行動がとれる。	豊かな感性と倫理観に基づく看護を実践できる。				
		人間関係を形成するための基礎的な知識を修得する。	倫理的課題を見出し解決するための能力を修得する。	倫理的な課題を見出し、解決するために考え方行動できる。					
		人体の機能と構造に関する知識を身につける。	病態と治療に関する知識を身につける。	多様な健康レベルと看護の場にある対象に、科学的・専門的な知識と技術および態度を統合し、実践へ適用する能力を身につける。	看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を実践できる。				
各学年別到達目標	看護の統合と発展	看護の本質、看護の役割と機能、看護の方法論に関する基礎的知識・技術・態度を身につける。	課題解決技法の基本を踏まえて、多様な健康レベルと看護の場にある対象のニーズに合わせた看護を展開する基礎的能力を修得する。	多様な健康レベルと看護の場にある対象に、科学的・専門的な知識と技術および態度を統合し、実践へ適用する能力を身につける。	看護の対象を総合的に理解し、科学的な知識・技術に基づいた看護を実践できる。				
		協調性を身につける。	他職種の機能と役割に関する知識を身につける。	保健・医療・福祉チームの一員としての自覚をもち、報告・連絡・相談ができる。	保健・医療・福祉チームの一員として、看護の役割と責任をもって協働できる。				
		グループの中で責任ある行動がとれる。	看護の役割と独自性について理解する。	グループメンバー内で協力し、リーダーシップ、メンバーシップを發揮できる。	看護の役割と責任をもって協働できる。				
		主体的な学びとは何かを考えて行動できる。	生涯に渡る自己研鑽の必要性を理解できる。	課題に対して、自ら幅広く多様な情報を収集し、課題解決に向けて行動できる。	主体的学修能力を身につけ、看護の発展や質の向上に貢献できる。				
		必要な情報を適切に入手し活用することができる。	自己教育力を高める方法を理解し、個々が実施可能な方法を検討し実践できる。						
		様々な意見や考え方を客観的・批判的・多角的な視点で捉え、自分の考えを論理的に主張できる。							
		国際社会で必要となる英語力を身につける。	国際社会で必要となる多様な言語を身につける。	国際社会における健康課題と戦略を理解する。	国際的視野を持ち看護を実践できる。				